

「岐阜県最先端がん治療施設導入検討調査中間報告書」に対する意見とその対応について

【意見募集期間】 平成29年1月19日 ～ 平成29年2月17日

【意見件数】 36件

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
1	3. 事業化の検討 (4) 事業採算性について	—	<p>本事業は、多額の初期投資額が必要であり、ランニングコストも高額であることから、採算面では厳しい状況にあります。金融機関という立場で検討した際、社会的に重要ながん治療施設が必要であると認識しつつも、事業収支がとれない案件の融資は、厳しい状況にあります。</p> <p>また、陽子線治療施設は、事業期間が30年超でも採算がとれないことに加えて、近隣県（愛知県(2施設)、福井県、長野県)には4施設あるため、集患人数を確保することも難しいと考えられます。</p> <p>従って、がん治療施設の建設に向けて、以下のことを検討することを提言します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採算面から、陽子線施設ではなく、重粒子線施設で検討してみようか。 ・重粒子線施設は、中京圏に無く、当圏域を含めて提携可能な病院を関東～関西まで幅広く確保し、多くの提携先を確保すること。 ・がん施設に併設する病院に有名ながん専門医を配置して、特徴のある施設にすること。 <p>※例：部位別患者数トップ3は、前立腺、肺、肝臓であり、これらの有名な専門医を集めた病院に併設して建設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元岐阜県以外の中京圏から、寄附金や出資金を多く集めるスキームをつくる。(中京圏の重粒子線施設として、岐阜県に整備するイメージ。) 	<p>ご意見のとおり陽子線治療施設は近隣県にあり、より多くの患者の方に来ていただくという点では、重粒子線治療施設の方が有利と考えられます。事業収支試算においても、重粒子線治療施設の方が採算がとれる見込みとなっています。</p> <p>ただし、見込みどおりの収支を達成するためには、中間報告書に記載のとおり岐阜県内だけでなく中部圏において大学、医師会、病院協会、病院等と連携し集患することが必要です。また、資金確保の面についても同様に県内のみならず他県も視野に入れる必要があると考えます。さらに、人材確保も課題の一つであり、これらのことは事業実施に向けた課題として、中間報告書に記載しています。</p>
2	事業化可能性調査 ②(概要版)、 事業実施に向けた課題	—	<p>名古屋やリニア開通に伴う他県からの受け入れを増やし、早期の投資回収を望みます。30年後に本当に黒字に転換するか不明です。他県に同様の施設が出来た場合や安価な治療法が開発された場合、施設の価値が低下すると思います。</p> <p>また行政主導の運営ではなく、民間の資金や運営ノウハウを利用した複合的な施設とし運営を行うべきだと思います。がん治療施設だけに留まらず、付加価値のある施設をお願い致します。</p>	<p>現時点において、粒子線治療施設を整備・運営する事業主体は、大学法人や医療法人を想定しているところですが、特別目的会社(SPC)など民間事業者が事業実施に加わるスキームもあり、その場合は資金調達、運営等で民間のノウハウが活用される考えられます。</p> <p>また、ご意見のとおり、競合する粒子線治療施設の併存や新しい治療法の登場により、将来の事業収入が変動するリスクがあり、これらのリスクに対応する必要があります。これらのことは中間報告書に記載しています。</p>
3	3. 事業化の検討 (4) 事業採算性 ・施設整備費	—	<p>想定されています重粒子線治療施設は照射室2室となっていますが、固定ポートの位置(水平、垂直、45°)、ポート数により、施設整備費が大きく変わることが想定されます。</p> <p>弊社は超伝導回転ガントリー1室を提案します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 回転ガントリー1室でも600人／年の患者さんは十分に治療可能である。(患者さんの入室、治療、退出が1人15分から10分に短縮出来る) 2. 寝台天板ローリングが不要となるので、患者負担を大幅に低減出来る。 3. 治療室1室となることで、施設のスタッフの数を最少に出来る。 4. 固定具作成が容易となり、施設スタッフの負荷が低減出来る。 5. 高精度な治療(IMPT)が容易に可能となる。 6. 建屋容積が2割～3割程削減出来るので、建屋費用を装置費用に転嫁出来る。 	<p>中間報告書における重粒子線治療施設の事業収支試算では、照射室は2室のケースのみの条件としましたが、今後は1室のケースも想定して試算することを予定しています。</p> <p>試算の条件を設定するにあたっては、必ずしもいただいたご意見の条件を採用するわけではありませんが、実際に導入されることになれば、非常に有用なご意見になると考えています。</p>

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
4	3 事業化の検討	11	温泉地を抱える岐阜の特徴を活かして、温泉地での宿泊や温泉病院との連携、海外・国内旅行者との連携でのメディカルツーリズムを検討してはどうか。	既存の粒子線治療施設においても外国人を対象に観光、宿泊と組み合わせ治療を行っている事例があり、岐阜県においても観光資源等を活かせる可能性はあると言え、本報告書において触れる必要があると考えます。しかし、一方で、メディカルツーリズムが奏功していない事例、外国人への対応が難しく消極的である事例もあり、集患見込数として推計するにはリスクが大きいため、報告書における事業収支試算では計上しないことを予定しています。
5	-	-	免疫細胞療法のANK免疫細胞療法がありますけど、先を見通した場合、患者の家族の負担は、今、ANK療法で400数万円(ワンクール)いります。保険がきかないのが残念です。	がんの治療法は免疫細胞療法も含めて様々なものがあり、このたび、がん治療の更なる充実、高度化の観点から岐阜県最先端がん治療施設導入検討委員会では、粒子線治療施設導入の検討を行っています。導入することが決まっているわけではありませんが、実際に導入されることになれば、がん患者の方が治療法を検討するあたったの選択肢の一つとなり得るものになると考えています。
6	概要版 1 粒子線治療施設の集患見込数 2 事業主体のあり方 3 専門人材の確保	4、6	自分自身が将来がん患者・患者家族になり得る立場として、外科的治療や放射線治療など、より多くの治療方法から個別の症状等に見合った適切な方法が選択できると良いと考えていますので、中部地域にも粒子線治療施設が整備されることに期待しています。 資料の中に、放射線治療専門医や医学物理士等の専門人材が全国的に少ないとありました。粒子線治療は低侵襲で効果の高い治療方法なものですから、誰でも治療法として選択できるように専門人材育成の環境整備も重要と考えます。 よって、今回の粒子線治療施設を教育・研究の場として整備することで、この地域全体を全国一の専門人材の育成環境として整えて行かれてはいかかでしょうか。 地域全体で整備していくためには、国や大学病院、市町村や周辺他県等との幅広い連携体制の構築等も必要かと思っておりますので、実現に向けた岐阜県の主導的な役割をお願いしたいと思います。	専門人材は全国的にも少なく、その確保については、本報告書においても事業実施に向けた課題の一つとする予定です。また、単に経験者を確保するだけでなく、研修等により育成することも重要であり、報告書では人材育成のスケジュール例を掲載したいと考えています。 なお、現時点では事業主体は決まっていますが、大学法人が事業主体となり施設が導入されることになれば、教育・研究面においても十分に施設が活用される必要があると考えます。
7	(4)将来の収入変動について	-	最先端がん治療施設という事で期待するところが大きい。中部地区にない施設でもあり、また今後、2040年ごろまでは高齢化による集患見込み推計により、かなり多くのニーズ発生が期待でき、採算可能な整備と想定します。 県民の期待も高く、健康岐阜の地域創生の柱とすべきと考えます。 よって、計画どおり民の力を活用して早期実現を期待します。	ご意見のとおり、当面は高齢化により粒子線治療の適応となる患者が増加する見込みです。また、中部圏に重粒子線治療施設はなく、事業収支試算においても、重粒子線治療施設の方が採算がとれる見込みとなっています。 現時点では、重粒子線治療施設または陽子線治療施設の導入が決まっているわけではありませんが、導入されることになりましたら、県としては広報や外部との連携に対する支援等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
8	2 粒子線治療の概要 3 事業化の検討	—	<p>がんの治療には外科療法、放射線療法、化学療法と大きく3つあるが、粒子線治療は従来の放射線治療と比較して、より局所的な治療を可能とし、相応な効果実績をあげる可能性のある新たな治療であることが理解できた。</p> <p>粒子線治療には、陽子線治療、重粒子線治療の2種あり、費用は250万円～350万円かかり、一部の治療に医療保険が適用されることを除き、治療にかかる費用は全額自己負担であることも分かった。こういった治療をうけるためには、「民間保険会社の先進医療特約を利用し支払う方法を考えておく必要がある。」ことが分かったので、民間保険会社との協力も患者獲得にプラスに働くのではないのでしょうか？</p> <p>中部圏内の粒子線治療施設として、陽子線治療施設は愛知県、福井県、長野県に存在し、重粒子線治療施設は存在せず、岐阜県に導入するにあたっては様々な課題があるが、課題をクリアすれば重粒子線治療施設は黒字化のめども試算されているので、岐阜県最先端がん治療施設(重粒子線治療施設)の導入に賛成します。</p>	<p>民間保険会社の医療保険に加入して先進医療特約を付加する人が増えれば、先進医療を受けやすくなり、粒子線治療を受ける選択をする患者数も増えることが予想されます。加えて、患者の負担を軽減するため、民間保険会社が直接、医療機関に支払うサービスを実施しているケースもあり、ご意見のとおり、民間保険会社との協力は集患のためには重要と考えています。既存の粒子線治療施設では、保険会社、保険外交員に対する広報に力を入れているところもあります。事業主体にとって参考となるよう、これらのことは中間報告書に記載しています。</p> <p>また、現時点では、重粒子線治療施設を導入することが望ましいと結論付けてはませんが、ご意見のとおり陽子線治療施設は近隣県にあり、より多くの患者の方に来ていただくという点では、重粒子線治療施設の方が有利と考えられます。事業収支試算においても、重粒子線治療施設の方が採算がとれる見込みであり、導入を決めるにあたっては大きな要因の一つになると考えます。</p>
9	事業採算性	—	<p>陽子線に関しては、20年、30年のいずれも赤字事業となる見通しにおいて、重粒子線に関しても、30年での黒字事業と考えるにはリスクも高いと思われるますが、民間資金を活用した場合の、行政側のリスク分担などの具体策があれば民間事業者を含めた金融機関の動向も活性化されるように思われます。将来を見据えて、岐阜県にあればいいと思えるような事業だと思いますので、早期実現を期待します。</p>	<p>中間報告書における重粒子線治療施設を想定した事業収支試算では、黒字となっているものの事業実施に向けては様々な課題、リスクがあり、それらを報告書にも記載する予定としています。</p> <p>現時点では粒子線治療施設を整備・運営する事業主体は大学法人や医療法人を想定しており、県としては広報や外部との連携に対する支援等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。</p>
10	—	—	<p>岐阜県にはこのような施設がないので是非作って頂きたいと強く思います。</p> <p>現在、がんに対する重粒子線が最先端の治療である事は徐々に認識されてきていますが、莫大な資金をどのように調達するかが重要課題であると思います。</p> <p>その為には、県はもとより企業に広く理解を頂き協力を頂くことが重要で九州の事例のように積極的に寄付の依頼を行い、資金確保をしていく必要があると思います。</p> <p>個人にもメディア等を通じて必要性、重要性を説きひとりひとりが協力出来る方法を模索し機運を高め是非、岐阜県に重粒子線センターを建設して頂きたいと思います。</p> <p>家族が、知人が、自分がもし、がんに罹った時このような施設が近くにあればどれだけ心強いのか。</p> <p>岐阜県にこのような施設を作る事の意味は大変大きいと思えます。</p>	<p>ご意見のとおり粒子線治療施設の整備には莫大な金額が必要となり、資金調達は大きな課題となります。報告書では、事業を実施する際の参考となるよう、寄附も含め資金調達手法及びその具体例を挙げることを予定しています。</p> <p>粒子線治療施設が導入されることになりましたらご期待に沿えるよう、県としては広報や外部との連携に対する支援等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。</p>
11	3 事業化の検討 (4) 事業採算性	—	<p>本中間報告書には、事業採算性について事業収支にしか触れていませんでしたが、最先端がん治療施設を導入することで生まれる付加価値にも着目すべきだと考えます。例えば、施設導入に伴う地方活性化のメリットです。施設を導入することで、県外からも多くの患者が岐阜県に訪れます。またその患者を見舞う人々の来県も見込まれます。岐阜県に多くの人々が訪れることで、県内の観光、産業の活性化が図られるのではないのでしょうか。また、施設の運営には多くの人材の雇用が必要となり、雇用促進にもつながります。まさに「まち・ひと・しごと創生」に直結する事業と言えます。</p> <p>本事業の採算を検討するにあたって、金銭的な可否だけでなく、岐阜県や地域に与える影響についても、プラスの面、マイナスの面を調査する必要があると思えます。</p>	<p>現時点では、本報告書は大学法人や民間医療法人等が事業実施の可能性を具体的に検討するための参考になることを想定しているため、地域活性化等の付加価値については検討を行っていません。県として今後、当該事業に関与していくにあたっては、ご意見のような付加価値や地域に与える影響を考慮する必要があると考えます。</p>

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
12	適応数推計ならびに 先行事例における 自県及び隣接県別の 利用状況	—	現在、中部圏における陽子線治療施設は、愛知県2カ所（建設中を含む）、福井県、長野県がありますが、今後、がん患者の増加が予想される中で、施設の拡充は重要であると考えます。特に東海エリアに限って見ると、名古屋市を中心とするエリアと、三河から遠州を対象にしたエリアでセンターが既存、あるいは建設が進んでいます。名古屋市以北のエリア（愛知県一宮市、岐阜県美濃地方、飛騨地方、滋賀県など）における患者のニーズはとて高いと推計からも読み取れます。実際、患者とその家族が動ける範囲を考えた場合、心理的な距離も含めて、岐阜エリアに同様のセンターがあることは、近隣市町村の住民だけに限らず、東海・南海・東南海地震が発生した際のサブ的なセンターとしても存在意義は大きなものであると考えます。義父がすい臓がんを患った際、名古屋市内の病院まで通いましたが、行き来だけで精神的、肉体的な負担は相当なものでありました。また、私も最近、乳がんを患いましたが、生活圏である県内にこのようなセンターがあれば心強く感じます。また、岐阜大学附属病院を拠点に医療体制が整う岐阜県だからこそ、医療連携も含め、岐阜県に最先端がん治療施設を導入することは大きな意義があるものと考えます。	粒子線治療施設を導入するにあたっては、より多くの方に施設を利用したいただくため、競合する粒子線治療施設の存在の他、交通アクセスの良さ等の条件を考慮して整備場所を決定する必要があります。中間報告書では建設場所の条件を挙げましたが、最終報告書ではさらに、事業実施に向けた課題として交通アクセスのことを記述したいと考えています。
13	1 がん治療の現状と 課題について	—	親族が、がんが原因で亡くなったり過去にがんを経験した者が多く、この施設の建設にはたいへん興味を持ちました。医療費さえ払う事ができれば、がんに有効な治療法として様々な面で有利な治療法と見聞きしていましたので、その治療が可能な施設が近くにできるというのは将来に対して安心感を持つ事ができます。ですが、気になる点は県下の病院との連携体制です。例えばある病院でがんが発見され、更なる詳しい検査待ち、手術室待ち、そのように後回しにされた結果ステージが進行してしまうという事をよく耳にします。患者が希望すれば場合にスムーズに治療を受ける事が可能な体制を実装していただけるよう期待したいと思えます。	集患のためにも大学、医師会、病院協会、病院等との連携体制の構築が必要であることは報告書にも記載する予定としていますが、ご意見のとおりそうした連携体制を構築することは、集患だけでなく実際に治療を実施していく段階でも意義があるものと考えます。
14	概要版 「今後、粒子線治療 施設の開設に意欲 のある県内の病院 が中心となって…」	6	重粒子施設の導入のご計画については域内に居住する者として大変期待しています。がん罹患する可能性は統計的にもきわめて高く、本人のみならず家族の場合も含め避けては通れない問題であると思えます。もし、そのような事態に直面した時に、この地域に重粒子線治療施設が立地していることは治療の選択肢を広げる意味で極めて価値が高いと考えます。人には健康上の理由、仕事上の理由、家庭環境的な理由などで治療の選択肢が限られる場合があります。貴県が本計画を積極的に推進することは社会的にも極めて有意義であると思えます。そうしたなかで重要なのは、施設としての医療提供の安定性です。人の健康に関わる施設です。ので継続的、安定的に提供される必要があると考えます。中間報告（概要版）の6ページに「今後、粒子線治療施設の開設に意欲のある県内の病院が中心となって」とありますが、重粒子線治療施設は施設整備（建設）に極めて多額の費用がかかります。この負担を民間に求めるのはどうかと思います。需要予測はあくまでも現在の予測でありまして、今後の医療技術の革新があり他の治療法が生み出されることもありえます。補助金での対応といっても、施設を所有する民間の経営までも県が保証できるわけではありません。そのような理由で、施設整備は行政で行い、施設の運営を民間が担うという役割分担が、がん治療施設としての継続性、安定性にかなうものであり、住民へ医療提供に対する行政としての役割ではないかと思うところです。	県では、がん治療の現状や他県の状況等を踏まえ、県民が粒子線によるがん治療を受けることができる環境整備の方向性について詳細な検討が必要であると判断のもと、大学法人や医療関係者等と岐阜県最先端がん治療施設導入検討委員会を設立し、粒子線治療施設導入の検討をすることになりました。検討するにあたり、事業主体は大学法人や医療法人等となることを想定しているところですが、県としては、どのような対応が可能であるのか、引き続き検討していくことを予定しています。

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
15	概要版 2 事業主体のあり方	4	<p>(当事業の社会的意義) 粒子線治療は、苦痛をほとんど伴わず、治療期間も短く、様々な面で患者に優しい治療法として大きな注目を集めています。なかでも重粒子線治療は、放射線治療の中でがん細胞に対する最も強い破壊力を持ち、また狙い撃ちが可能であることから、悪性のがんにも効果を発揮すると評価されています。しかしながら、中部圏は重粒子線治療施設の空白地帯となっており、県民に対する医療福祉の充実という面だけでなく、社会的意義の観点からも、今回の岐阜県における導入検討に大変期待しています。 (事業主体のありかた) このような公益性の高い事業を行うにあたり、民間主導による事業推進は難しいと考えます。先進医療においては、技術革新が日進月歩で進んでおり、治療機器の機能更新を随時図っていくと共に、治療法の効果・安全性をさらに向上させるための研究が必要不可欠となります。しかし、民間主導の場合、事業の採算性を重視するあまり、追加投資や研究開発を控えることが懸念され、結果的に技術的な停滞をもたらしかねません。 ついては、施設(設計、建設、装置)に関しては県主体で整備し、運営は国立大学法人等が中心になって行うことはできないでしょうか。 こうした枠組みの中で、施設整備については、民間からの資金調達による建設(名古屋市陽子線施設の事例)等の手法を取り入れることも可能かと考えます。</p>	<p>県では、がん治療の現状や他県の状況等を踏まえ、県民が粒子線によるがん治療を受けることができる環境整備の方向性について詳細な検討が必要であると判断のもと、大学法人や医療関係者等と岐阜県最先端がん治療施設導入検討委員会を設立し、粒子線治療施設導入の検討をすることになりました。検討するにあたり、事業主体は大学法人や医療法人等となることを想定しているところですが、県としては、どのような対応が可能であるのか、引き続き検討していくことを予定しています。</p>
16	1(3)がん対策 3(1)集患見込数の推計 4 事業実施に向けた検討	—	<p>本事業については、岐阜県民へのがん対策によるQOL向上の視点からも岐阜県殿が主体的に事業立案していくべきだと考えます。 集患見込数からもがん患者数(=適応数)が増加することは明白であり、その対策として本事業が有効・有用な手立ての一つであると思われれます。 特に事業用地の確保、人材の確保、事業スキームの構築に関して、県殿が先導に立ち県内医療・企業を巻き込んだ動きで事業創成していくことが具現化の要と考えます。</p>	
17	2 粒子線治療の概要 イ 近隣県での導入状況等	6	<p>愛知県には既に2つの陽子線治療センターが予定されていることを鑑みると、愛知県での重粒子線施設への集患見込数は期待できない。一方で、近隣県の岐阜県は、県内患者のみならず、リニアによる名古屋駅からの利便性を見込むと将来的に十分な集患見込数が期待できると考える。是非とも岐阜県での重粒子線施設事業化を期待したい。</p>	<p>現時点では、重粒子線治療施設を導入することが望ましいと結論付けてはいませんが、ご意見のとおり陽子線治療施設は近隣県にあり、より多くの患者の方に来ていただくという点では、重粒子線治療施設の方が有利と考えられます。そのため、事業収支試算においても、重粒子線治療施設の方が採算がとれる見込みであり、導入を決めるにあたっては大きな要因の一つになると考えます。</p>
18	粒子線治療施設の概要	—	<p>現在中部圏での粒子線治療施設は、名古屋陽子線治療施設、福井県陽子線治療施設、静岡がんセンターと3か所であるが、いずれも陽子線治療施設で高齢者ともなると治療を受けに通うとなると大変です。岐阜県において陽子線よりも高度な重粒子線治療施設の建設検討に対し身近にこのような施設が実現すれば岐阜県に暮らす人々にとって、がんへの不安も和らぎ安心して暮らせる重要な施設になると思います。 重粒子治療施設に期待します。</p>	

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
19	粒子線治療の概要、事業化の検討	—	<p>粒子線治療施設導入は賛成です。報告書にもありますように近年の日本における死亡者数に対する死因として一番多いのが「がん」となっている事実があり、治療整備・施設として一番力を入れていくべき内容はがん治療ではないかと感じます。その中で粒子線治療は治療費は高いようですが、治療方法として非常に有効的であると感じました今後より注目されてくる治療方法だと思いました。また、粒子線治療の中でも「陽子線治療」と「重粒子線治療」の2種類があることを理解しましたが、私は「重粒子線治療」の導入のほうを優先して検討していくべきではないかと思えます。「重粒子線治療」のほうが「陽子線治療」の施設よりも多額な整備費・運営費が必要にはなりますが、報告書にあります長期的な収支試算を見ても重粒子線施設は採算がとれる予想もされていますし、中部圏に重粒子線施設はまだないことも集患に大きく影響してくると思えますので、前向きに導入検討していくことに賛成です。</p>	<p>現時点では、重粒子線治療施設を導入することが望ましいと結論付けてはませんが、ご意見のとおり陽子線治療施設は近隣県にあり、より多くの患者の方に来ていただくという点では、重粒子線治療施設の方が有利と考えられます。事業収支試算においても、重粒子線治療施設の方が採算がとれる見込みであり、導入を決めるにあたっては大きな要因の一つになると考えます。</p>
20	全体	—	<p>中間報告書を読ませていただきました。これからの高齢化社会における重要なことをご検討いただきありがとうございます。県民にとって有用なことから、ぜひ県としても支援して進むようにしてください。</p>	
21	—	—	<p>手術などのように回復にも時間がかかるものに比べ、この治療は手術で起こり得るような危険も少なく、また副作用も少ないので、この粒子線治療に大変期待しています。 がん手術経験者としてこのような治療方法が岐阜県内で行えるようになるならば大変ありがたいことと思いました。 手術に比べれば回復も早いので治療後の生活も変わってくると思えます。 また、がん患者の場合は高齢者も多いと思えますが、もしこの治療法を受けたいと思っても、現在は県内にないため遠くの病院へ通院することになり、患者の負担も多くなると思えます。 是非とも県内での導入をご検討いただけたらと思えます。 よろしくをお願いします。</p>	
22	—	—	<p>がんは、病気の本人だけではなく、支える家族への負担も非常に大きくなります。 知人のがん患者は、長期の入院と通院をされ、治療を受けながら仕事をしています。病気に対する職場の理解は得られてはいるようですが、より効果的な治療があればという思いを、病気の本人だけでなく家族ももっています。 粒子線治療は、期間や時間が短くより効果の高い治療とありますが、一方で、治療費の負担は大変大きいので、最先端のがん治療が岐阜県内で多くの方が受けられるようになることを期待します。</p>	<p>粒子線治療施設の導入については引き続き検討を行っていきますが、導入されることが決まればご期待に沿えるよう、県としては広報や外部との調整等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。 また、導入されたときは、少しでも多くのがん患者の方々にご利用いただきたいと考えています。</p>
23	—	—	<p>重粒子線療法は、かつて、なかにしれいさんがこの治療法で助かったと知った時、心からうらやましく思ったのを思い出しました。 私は、5年前卵巣がんで両側摘出して、抗がん剤治療を6クール行いました。副作用は壮絶で泣いていました。 是非岐阜県内にも保険で重粒子線治療のできる病院の設置をお願い申し上げます。</p>	

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
24	—	—	<p>私は4才の子供を持つ母です。この中間報告書を読んで不思議に思いました。この施設が小児がんにも有効なことを書いていますが、中部地区にないことにとっても残念に思いました。この施設があれば年間何百人の人を助けることができるのと思います。岐阜県の土地の広さを有効活用していただき、もしお金がないのであれば県や市が資金を出し合い協力してもらいたいものです。また、私の父は肺がんになり抗がん剤治療と放射線治療をしています。どちらも治療からくる副作用を気にしながらがん闘っています。しかし、痛みや副作用からくる父の苦しむ姿を見ているととても心が痛みます。こんな時に少しでもがんの効果的な治療方法や副作用が少しでも軽減できる治療法があればすぐにでも父に勧めたいです。この先、父の余命がどのくらいかわかりませんが、少しでも希望がもてる結果ができればと期待しております。</p> <p>また、同じ心境である患者さん方の希望にも繋がると思いますので、ぜひ施設導入に向けてすすめて頂きたいと思います。</p> <p>最後に、「古田知事が県民の健康と安全を守ります」とありますが、この施設導入検討素晴らしい計画だと思います。</p>	
25	—	—	<p>岐阜県民ではありませんが、がん治療に興味があり意見させていただきます。</p> <p>2年程前に、身近な方ががん診断されました。</p> <p>診断された直後は、本人はもとより、周囲の者すべてが大きな不安を抱き途方に暮れてしまいましたが、幸いにも本人が高齢なため、病状の進行も遅く、現在何事も無かったように元気な日々を過ごされています。</p> <p>このことでがんが身近に感じられ、がん治療、治療後の生活について考えるようになりました。がん治療は、心や体、経済的な負担が、本人のみならず、周囲の人間を巻き込み、それまでの生活スタイルを大きく変えてしまいます。周囲の者にとっては、がんの根治は最も重要ですが、現実問題として”いかに負担なく治療してもらうか”も大きな問題となります。</p> <p>外科手術をせずに、放射線療法と化学療法を併用し、外科手術ではとうてい望めない術後のQOLを維持することができたら、これら多くの負担を免れることができます。</p> <p>私が住む江南市は、岐阜との県境に位置し、岐阜県内にこのような施設ができることは、とても心強く、岐阜県の方々だけでなく、中部の多くの人が、心待ちにすることと思います。</p> <p>財政負担も大変だとは思いますが、施設完成の実現に向け是非前向きにご検討下さい。</p> <p>人の命を救うのは、お金だけの問題ではないと思います。</p>	<p>粒子線治療施設の導入については引き続き検討を行っていきませんが、導入されることが決まればご期待に沿えるよう、県としては広報や外部との調整等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。</p> <p>また、導入されたときは、少しでも多くのがん患者の方々にご利用いただきたいと考えています。</p>
26	—	—	<p>私は、後腹膜脂肪肉腫と診断され摘出手術を受け、翌年に再発、又も摘出手術をしました。以後も毎年再発を繰り返しています。しかし3回目には背部筋肉や大血管の間に入り込んでおり完全切除は困難であり、仮に切除するには大出血や神経損傷などかなりの危険を伴うと診断されました。このような切除に対し設備や人材がそろった他の病院にデータを持参して所見を伺いましたが最初の病院と同じ診断をされました。</p> <p>この肉腫には化学療法、放射線治療がありますが、手術以外の方法で治る確率は極めて低く手術ができない今、3ヵ月毎のC/T撮影で経過観察となっています。</p> <p>試みに今年再発した患部に高精度放射線治療を施したところある程度の効き目がありました。このような訳で今回導入を検討されています最先端がん治療施設で希少がんといわれる肉腫に効くのかは判明しないのですが試してみるのも一考かと思えます。</p> <p>導入が決定し幸いにもその時点で生き永らえていれば、治療のお手伝いが出来る事をお約束します。</p>	
27	—	—	<p>自身も含め、親族ががんを患った場合、どれだけ費用がかかっても良くなって欲しいと思いません。</p> <p>その際、重粒子の様に副作用がなく、的確な処置が出来るのであれば、そんなにすばらしい事はないと思います。</p>	

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
28	—	—	高齢化社会に伴い今後さらに患者が増えることが予測され、岐阜県内に、ぜひ重粒子治療施設を建設していただきたいです。	<p>粒子線治療施設の導入については引き続き検討を行っていきますが、導入されることが決まればご期待に沿えるよう、県としては広報や外部との調整等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。</p> <p>また、導入されたときは、少しでも多くのがん患者の方々にご利用いただきたいと考えています。</p>
29	—	—	身内にがんの患者がいます。近くにこのような施設ができると本当に心強いです。早く完成して沢山の人の治療ができますことを願っております。	
30	—	—	岐阜県にも是非こういった施設を作っていただきたいです。 今は、2人に1人はがんになる時代です。私の娘もがんにかかり、一度治療したものの再発し、抗がん剤の治療を続けています。 岐阜大学医学部附属病院まで通っていますが、できれば近くにがん治療施設が欲しいです。 今、岐阜県は人がどンドン外へ出て行っています。このような施設が岐阜県にでき、なんと人は人が出て行かないようになればいいと思います。	
31	2 粒子線治療の概要 (1) 粒子線治療の現状 ケ 新しい治療法	5	重粒子線治療施設は中部圏に存在しておらず空白地帯とのこと。 日々進歩しているがん治療分野において、先進医療施設が極力最寄りに配置されることは県民にとってとても重要で意義のある計画であると思います。 がんの患者さんにとって「治せる技術は世の中にあるが、施設がない」というのはとても悔しくもどかしい状況ではないでしょうか。 意義ある施設の計画の実現に期待いたします。	
32	—	—	お腹に出来た大きな傷と、長い入院生活、祖母の看病にあたる母の姿を間近で見えました。 私自身、体にメスが入ることも抵抗があります。体にはなるべく負担を掛けず、それを支える家族の負担も考慮できるそんな治療が岐阜県で出来たらいいです。 治療は一見、病気を治す事に重きを置きがちですが、その根底には本人、家族の日々の生活があり毎日を自然体で暮らせるかが大切だったりします。 その為にも、最先端がん治療施設の設置をお願いします。	
33	—	—	重粒子線治療施設はじめ最先端がん治療施設を是非造ってください。 遠方まで行く患者や介護する人の負担を少しでも軽減してください。 早急な対応をお願いいたします。	
34	—	—	私は現在乳がんステージ4でがん治療をしています。 今はまだ抗がん剤などの治療薬で治療出来て良くなっていますが、全て使い果たし将来治療法が無くなる可能性もあります。 なので少しでも治療に有効なものがあるなら取り入れて欲しいです！ 可能性を1つでも多くお願いします！ 切実です！ 毎日死との闘いをしているんです！ お願いします！ 治療費も高くわざわざ遠くの県まで行けません！ 近くでできたら救える命が増えると思います！	

No.	該当箇所	該当頁	ご意見等の内容	ご意見に対する県の考え方
35	—	—	<p>数年前、父を口腔がんでなくしております。手術で切除したのですが、リンパに転移しており、放射線治療を行いました。皮膚がただれ見るも無残でした。糖尿病が持病であることもあり、やはり副作用のリスクがかなり高かったのでしょう。</p> <p>最後、化学療法を行ったのですが、高齢ということもあり、せん妄、さらに放射線治療の皮膚の化膿が完治していなかったため、敗血症となりました。そのため、ベッドに縛り付けられ、注射器、呼吸器、胃ろうの管など人間の尊厳を完全に損なうような処置をされました。これが本当の医療なのかと疑いました。最後は、転移しているリンパの腫れにより気道、動脈の圧迫により、安らかに逝ったのがせめてもの救いです。</p> <p>患者本人のみならず、患者家族のQOL維持のためにも、粒子線治療施設の早期整備を望みます。</p> <p>私のような遺族は中部圏にも数多くいると思いますので、ぜひ重粒子線治療施設の整備を望みます。</p> <p>本当によろしく申し上げます。</p>	<p>粒子線治療施設の導入については引き続き検討を行っていきますが、導入されることが決まればご期待に沿えるよう、県としては広報や外部との調整等、行政としてできることを検討していきたいと考えています。</p> <p>また、導入されたときは、少しでも多くのがん患者の方々にご利用いただきたいと考えています。</p>
36	事業採算性の記述について	—	<p>事業採算性の厳しさは分かるが、重粒子線治療施設はぜひとも必要な施設と思われるため、早期の実現をお願いしたい。</p>	